Psychologist

関西大学　臨床心理専門職大学院　紀要

目次

飯田紀彦　キャンパスメンタルヘルスの最近のトピックス　1

寺嶋繁典　投影法の内容分析―ロールシャッハ・テスト―　13

中田行重　中村　絢　日野唯香　丹羽由子　福山侑希　菅野百合子　横谷幸美
定時制高校に対する地域臨床的支援の試み　23

小海宏之　中野明子　山本　愛　加藤佑佳　岡村香織　吉田麻美　岸川雄介
園田　薫　安藤悦子　寺嶋繁典
高齢糖尿病者の認知機能と海馬傍回の萎縮度との関連について　33

岡村心平　暗黙的機能の観点から見た心理療法のための一考察
―ジェンドリンのフォーカシング・セッションより―　41

前出経弥　漢字一字で言い表す～フォーカシングワークを通して～　51

松本春花　自画像描画と自己イメージの関連についての予備的研究　61

磯田佑太郎　西藤奈菜子　寺嶋繁典　レジリエンスの健康回復機能過程に関する研究
―個人内要因との関連性―　73

心理学研究科心理臨床学専攻教員一同　飯田紀彦先生　ご退職にあたって　83

Number 4
March 2014

執筆・投稿規定

1．原稿の内容は未公刊のものに限る。執筆者（主著者）は、関西大学臨床心理専門職大学院の教員、大学院生、及び臨床心理学関連専攻を修了した者とする。その他の著者については、編集委員会が本学の活動に寄与すると認める場合、掲載することができる。

2．本誌では事例研究論文は原則として受け付けない。事例研究以外の研究においても執筆者は論文の内容および研究方法について、人権の尊重に責任を持ち、可能な限り対象者の了解を得ることとする。論文に事例が含まれる場合は、記載する情報を最小限にして、プライバシーの保護に十分配慮すること。研究・論文作成上の配慮の方法に関しては、関西大学大学院心理学研究科研究・教育倫理綱領に従う。

3．原稿は原則としてワープロ入力で作成すること。A4（縦）用紙に横書きで、1ページは1200字（40字×30行）とする。日本語の論文は常用漢字・現代仮名遣いを用い、数字は算用数字を用いること。読点は「、」、句点は「。」とする。

4．原稿の枚数は12枚以内とする。ただし、編集委員会が認める場合にはこの限りではない。図表はその大きさを本文に換算して枚数に算入すること。

5．原稿の内容は、表題・著者名・所属を冒頭に記し、要約（600字以内）・キーワード（5項目以内）・本文・付記・謝辞・文献の順で構成する。

6．図表や写真は別紙で用意し、図1、表1など通し番号をつけ、それぞれに題と内容を原則として和文で記すこと。図の題はその下部に、表や写真の題はその上部に付ける。また。本文中の挿入箇所を明示すること。

7．印刷原稿2部とともに、電子記録媒体に保存した原稿のデータファイル1部を提出すること。データファイルはMS-Wordまたはテキスト形式とする。電子記録媒体は執筆者に後日返却する。

8．Th.・Cl.・SCなどの略語は、記述が重複して煩雑になるのを避けるために用いる場合のみ、初出の際にその略語の意味を明示した上で使用すること。

9．外国の人名、地名等の固有名詞は原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合には、初出の際、日本語読みを（ ）内にカタカナ表記する。

10．本文中に文献を引用した場合は、引用した箇所を「 」でくくり明示すると同時に、著者名又は論文名と公刊年を記載すること。訳本の場合には、原典の発行年と訳本の発行年を'/'で併記する。著者が複数いる場合は、3名までは著者名を挙げ、それ以上は和文献であれば'ら'、洋文献であれば'et al'を用い省略して記載する。

11．引用・参考文献は、論文の最後に、著者名のアルファベット順に一括して記載すること。文献は下記のように記載する。

（日本語著書）

中田行重（2003）：キャンパスにおけるコミュニティ・アプローチの展開　村山正治（編）『コミュニティ・アプローチ特論』日本放送出版協会　pp. 89-100.

（外国語著書）

Rogers, C. R.（1951）：*Client-centered therapy*. Boston, Houghton Mifflin.

（訳書）

Rappaport, L.（2009）*Focusing-Oriented Art Therapy*. London, Jessica Kingsley Publisher.　ラパポート、E.（池見　陽・三宅麻希訳）『フォーカシング指向アートセラピー』誠心書房　2009.

文中に表記する場合：Rappaport 2009/2009

原文からの引用を文中に表記する場合：Rappaport（2009, p. 12）は "we lean to draw...."

翻訳からの引用を文中に表記する場合：ラパポート（2009, p. 15）は「私たちは言葉を話せるようになる前に…」

① 雑誌の場合：著者名、公刊年（西暦）、論題、誌名、巻、号、記載頁の順で記載する。
雑誌名の記載に際しては、「心研」「*J.Clin.Psychol.*」といったような略記はしない。なお、雑誌名も書名と同様に『 』にくくるか、欧米言語の場合はイタリックとする。
巻、号、ページ数については次の例のように表記する。31(2)：46-57（31巻、2号、46-57ページ）。

② 単行本の場合：著者名、発行年度（西暦）、コロン、『書名』、発行所、引用頁の順序とする。外国語の著書は書名をイタリックとし、発行都市名、発行所、引用頁の順とする。
ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者を筆頭にあげ、以下、発行年度、論題、編者名、『書名』、発行所、頁の順とする。

③ 著者名を基準にした一括記載の場合、同一著者で2種以上の文献がある場合は発行年度順とし、さらに同年度に同一著者の2種以上の文献がある場合には2000a、2000bのように区別して記載すること。

12．英文で論文を投稿する場合は、A4（縦）用紙1枚につき約300語で図表を含め、12枚以内とする。

13．印刷上特別の費用を要する事情が生じた場合は、当該執筆者により負担すること。

14．執筆者には論文抜き刷り20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。

15．原稿の採択は関西大学臨床心理専門職大学院紀要編集委員会によって決定を行う。

以　上